

都市再生整備計画 フォローアップ報告書

各務原東部地区

平成29年12月

岐阜県各務原市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	拠点間の歩行者数	人	409	612	636	確定 見込み	○ ●	あり なし	737	H29年9月	○	- □ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	中山道鶴沼宿、おがせ池、村国座等を結ぶルート「各務野歴史街道」が整備されたことにより、各拠点間のネットワークが強化され、歩行者数の増加に寄与した。 また、事後評価の調査時には未完成であった木曾川河畔遊歩道の完成により、拠点間の歩行者数がさらに増加した。	
指標2	歩行者の快適性	%	24	85	97	確定 見込み	○ ●	あり なし	97	H29年9月	○	- □ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	遊歩道の整備やカラー舗装の実施により、安全で自然に親しむことが出来る歩行空間が確保された。 個人所有の文化財や歴史資源等の維持・改修により、歴史的な景観の維持が図られている。	
指標3	ネットワークの良好性	%	12	100	100	確定 見込み	● ○	あり なし	-	H 年 月	-	- □ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	木曾川河畔遊歩道及び大安寺川河畔遊歩道等で形成される歩行者空間にサインが整備されたことで、良好なネットワークが形成された。	
指標4						確定 見込み		あり なし		H 年 月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし		H 年 月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み				H 年 月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2					確定 見込み				H 年 月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3					確定 見込み				H 年 月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるための行う方策	—	—	—	—
	—	—	—	—
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	親しみのある歩行空間の維持管理、活用及び安全対策	・8月及び11月に遊歩道の除草作業実施。 ・鶴沼宿においては速度抑制対策及び自動車流入抑制策として、ポストコーンを設置。	・歩行空間の快適性や安全性が向上した。	・親しみのある歩行空間を維持するため、沿道環境等の整備や歩行者の安全を確保するための対策を図る。 ・観光客の利用促進と市民の健康増進のため遊歩道利用の推進。
	歴史拠点や景観資源等のPR活動等による地区全体の活性化の促進	・7月24日～10月31日において、坊の塚古墳発掘作業の実施。	・当地区の歴史を知る上での貴重な資料が得られた。	・調査結果の活用により、さらなる魅力の拡大。
		・ボランティアガイドによるおもてなし対応。 ・イベント時の着物レンタル。 ・県主催の中山道ぎふ17宿歩き旅の実施。 ・中山道鶴沼宿まつりの継続実施。	・ボランティアガイドの活動や市外の中山道宿場との連携により、来訪者の当地区への理解が深まったとともに、各種イベントを通じて鶴沼宿での活性化が図られた。	・イベントの定期的な実施や拠点のまち歩きの仕事掛けづくりにより、集客効果を全体に波及させる取組の展開。
		・特産品として護命味噌の開発。	・推奨特産品として物産展等で販売することにより、護命味噌の周知が図られた。	・さらなる知名度の向上と、需要の拡大。
		・市ホームページや観光協会SNSでのイベント情報発信。 ・ボランティアガイドと歩く史跡巡りウォークパンフレットでのウォーキングコースのPR。 ・ハイキングコースマップの市内施設での設置。	・ハイキングコースやウォーキングコース、当地区で実施されるイベントの周知が図られた。	・情報発信やPR活動の充実により、知名度及び集客力の向上。
景観意識のさらなる向上	・ボランティアガイド等の広報活動の支援	・ボランティアガイドを支援することで、円滑にイベント開催が図られた。	・ボランティアガイドへの継続的な支援。	
	・市のホームページや広報による重点風景地区の周知及び窓口による相談対応を継続して実施。	・重点風景地区の景観の維持が図られた。	・重点風景地区における景観の維持に向けた周知、啓発や要望に応じた出前講座の実施の継続。	

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
—			